

目次

Guest editor 加藤 順

特集／IBD 診療の decision making — 専門医の選択

巻頭言	加藤 順	123
1. [総論]IBD 診療における治療, モニタリングの新しい選択肢	平岡佐規子	125
2. 潰瘍性大腸炎難治例の第一選択		
(1) インフリキシマブを推奨する立場から	北村 和哉 他	131
(2) トファシチニブを推奨する立場から	大井 充 他	136
(3) ベドリズマブを推奨する立場から	橋本 真一 他	143
(4) ウステキヌマブを推奨する立場から	太田 佑樹	148
3. クロウン病初期治療		
(1) 抗 TNF α 抗体から開始する立場から	前本 篤男	153
(2) ウステキヌマブまたはベドリズマブから開始する立場から	長坂 光夫	159
(3) ステロイド + チオプリンで開始する立場から	高尾 政輝 他	166
4. IBD の活動性モニタリング		
(1) 便中カルプロテクチンを指標とした診療	山本 隆行 他	173
(2) 免疫学的便潜血検査を指標とした診療	井口 俊博 他	180
(3) 新しい血液検査 LRG を指標とした診療	新崎信一郎 他	184
5. クロウン病小腸画像検査		
(1) 小腸造影検査の実際と有用性	梅野 淳嗣 他	189
(2) バルーン内視鏡検査の実際と有用性	辻川 知之 他	196
(3) カプセル内視鏡検査の実際と有用性	藤森 俊二 他	202
(4) MR enterography の実際と有用性	竹中 健人 他	208

〔連載〕内視鏡の読み方

非遺伝性で胃に局限して発生した若年性ポリポースの 1 例	山本 貴嗣 他	215
手技の解説		
次世代マイクロ波凝固装置 Emprint TM を用いた		
経皮的肝癌局所療法の実際	玉井 秀幸	219
検査値の読み方		
薬剤起因性と考えられた胆管消失症候群の 1 例	宮地 洋平, 葛谷 貞二 他	223

前号ご案内 228 次号予告 229 編集後記／加藤 順 230
表紙写真提供(上段から): 北村和哉 他(p. 134), 梅野淳嗣 他(p. 194),
辻川知之 他(p. 198), 藤森俊二 他(p. 206)